

町政運営姿勢について

議会制民主主義の考えは



江寄 悟 議員

江寄議員 議会は住民を代表する公選の議員をもって構成される意思決定機関であると認識していますが、藤本町長の言動は明らかに議会の意思決定を無視されていると思います。すなわち町民の意思をないがしろにしているものと思わざるを得ません。町長は執行部と議会の在り方、また議会の議決の重みをどのように考えておられるか。

と承っています。と同時に私も町民のみならずから直接選ばれた執行機関の長であります。お互いに独立してその権限を侵さず、侵されず、対等の立場であること認識しています。

江寄議員 執行部と議会の在り方ですが、先ほどの一般質問で有田議員が話された裁判問題についても、本来は3月議会での現在の状況について中間報告などやらないと町民には見えてこない。議会全体に説明すべきで、議長だけへの説明に終わらせないでほしい。今後どうされますか。

江寄議員 議会の重みの件ですが、祭り実行委員会が開かれた中で、議長が、祭りの予算を「桜まつり」と「火の君祭り」を今までどおり分けなさいという付帯決議をしているのに「一部の議員が言っていること。予算をどうするかは祭り実行委員会決定されてよい」と言われた。その場におられた町長は、付帯決議をどのように考えて

お互い独立して 対等の立場と認識

町長 議会議員のみならず、選挙で選ばれて構成された住民を代表する意思決定機関ですので、十分尊重してまいりたい

江寄議員 議会の重みの件ですが、祭り実行委員会が開かれた中で、議長が、祭りの予算を「桜まつり」と「火の君祭り」を今までどおり分けなさいという付帯決議をしているのに「一部の議員が言っていること。予算をどうするかは祭り実行委員会決定されてよい」と言われた。その場におられた町長は、付帯決議をどのように考えて

おられるのか。
議決は無視しない 実行委員会と議論する

町長 付帯決議は、700万円の予算を各350万円ずつ分けてやりなさいです。決議を無視するつもりはありません。祭りをどうするかは実行委員会があり、祭りの運営を行っていくわけですので、そこで議論して決めていただく。

中心市街地再整備は 取り組むつもりか

江寄議員 氷川町建設計画は竜北町と宮原町が取り決めた大切な合併条件です。氷川町総合振興計画の中の、中心市街地再整備計画は旧宮原町のやり残し事業です。地域のみなさんに整備をしようと宮原町では言っていますが、この整備計画は5年間も放置されています。町長はこの計画は推進するつもりですか。

とびやるかをもうけし 議論する必要がある

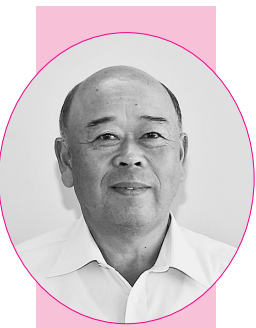
町長 2町合併で新町建設計画を策定しました。主旨は、合併後の均衡ある地域の振興、発展、社会基盤整備あるいは住民への行政サービスの上に取り組み基礎となること

認識しています。中心市街地整備計画は今後進めていく必要があります。どういった形でやるか、もともとの基本計画どおりにやるのか、現在の状況に合った整備をするのか、もう少し議論を深める必要があると思っています。



道の駅「竜北」・氷川町物産館「ビストログリーン」

吉野梨の凍霜害対策を



坂本悦男 議員

坂本悦男議員 3月27日未明に発生した梨の凍霜被害は過去に例のない甚大な被害をもたらしました。農家によっては例年の80%程度の減収となるという方もいます。歴史ある氷川町特産の吉野梨を生産維持していくために、次の5項目を質問します。

一つは、梨の晩霜被害相談窓口の設置を。二つは、農林漁業セーフティネット資金の利子補給。三つ目は、町民税の減税措置の実施。四つ目は、梨優良品種早期産地化事業の延長。五つ目は、凍霜被害防止施設設置資金助成についてどのように考えていますか。

また、道の駅テント販売手数料、吉野産果場横のテント設置借料の免除を考えていただきたい。

相談窓口を設置し 誠心誠意対応したい

町長 梨の凍霜害相談窓口を設置しました。JAと一緒になり相談に乗る状況を確認して誠心誠意対応していきたい。特に過去に例のない甚大な被害というなかで、生産者のみなさんの支援ということにつきましては、できる限り支援をしていかなければと思います。現在すすめている被害調査で、被害額というのがある程度見えてまいりましたら議会と相談して必要な予算措置を講じていきたい。町民税の減免措置も町の条例に従って対応したいと思っています。また、梨部会のテント販売の手数料等は検討させていただきます。

治療方法がなく 根治は難しい病気



田中照男 議員

田中議員 九州に感染者が多い(50万人)成人T細胞白血病などの原因といわれているウイルスHTLV1について、旧厚生省研究班は1990年度に全国一律の対策は不要と提言をしました。その結果、HTLV1の感染者が全国に広がり、全国的な検査対策が必要になっていきます。厚生省研究班によるとT細胞白血病による死者は、全国では1048人うち九州は499人となっていて、熊本県は死亡率が全国7番目に高いものです。HTLV1による母子感染についてはどのような認識をされていますか。

医療費は一概には言えませんが重症化すると多額の費用がかかると思っています。

田中議員 HTLV1ウイルスによる母子感染については本町の対応、八代郡市の産科医の対応はどうなっていますか。また、抗体検査の実施率はどのようになっていますか。公費負担で抗体検査をすることはできないか。

町長 現時点では、特定をしないのが原則です。公費負担については、県では国の動向を見極めて検討するとしていますので、国県の動向をふまえて対応していきます。現時点での町単独での費用負担は考えていません。

田中議員 九州での感染者が多い病気です。だから九州でも無料で検診をしていこうとありますが、防げる病気は防いで、予防していかねばならないと思います。



被書を受けた梨の 着果状況(本年) ←

梨の着果状況(昨年) →